



中国文化について

平成 26 年 10 月 1 日 (水)、飾磨小学校 6 年生の総合学習の時間に、国際理解出前講座の講師の侯継敬さんが「中国文化について」のお話をしました。児童の皆さんは、メモをとりながら、熱心に聞いている様子でした。



中国の小学生

小学生が対象ということで、挨拶や数の数え方、家族の呼び名、また小学校の様子など、身近な話題についてのわかりやすい説明がありました。挨拶の練習では、児童の皆さん、大きな声が出ていました。

食事のマナーでは、おはしの置き方やお茶碗を持たないことなど、日本と違っているところには、みな驚いたようでした。

また、最後の遊びの紹介では、やはり皆興味津々の様子。講師の侯先生は、お手玉やゴムとび（ゴムというよりは、自転車のタイヤのチューブをつないだもので、歌いながら複雑なステップを踏みます。）がとてもお上手で、拍手をあびていました。

最後は、希望者に出てもらって、中国の羽根けりを試してもらいましたが、思ったよりむずかしく苦戦していました。

足で蹴って遊ぶ羽根

動物の骨に色を塗ったもの。
お手玉のように遊びます

